



SSKP つくしんぼの会報紙

つくつく通信

No.93

ホームページ <http://www.normanet.ne.jp/~tsukushi/> メール fs2941@nifty.com

つくしんぼはハンディをもつ
子どもたちのための
放課後活動のスペースです

編集～ NPO 法人はらっば
フリースペース
つくしんぼ
町田市小川 1511 番地
TEL/FAX 042-796-8468

生かされている……とつとつ

東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

3月11日午後2時46分

この瞬間、私は自宅のパソコンに向かい、この通信の文章を作成していました。昨年度内になんとか三回目の通信を発行しなければと思いつつも、どうにも文章がうまくまとまらずに悪戦苦闘している最中のことでした。

ゆっくりとした横揺れ。震源は遠そうだし、たいして心配はないかなと思いきや……。

次第に揺れが激しくなり、こりゃ築60年超のオンボロ建物のつくしんぼの方がヤバイ!! と思って飛んで行くと、子どもたちはまだ一人も来ておらず、職員が二人して庭に避難していました。

信じられない光景

地震後はずっとテレビに張り付いていました。

震源は三陸沖。M8以上。大津波に襲われた沿岸の町の幾つかが壊滅状態……。時間が経つにつれ、被害状況は悪化していきます。津波の映像を見て、息が詰まるばかり。そういえば、阪神淡路大震災のときも、報道による状況は時間が経つにつれ、どんどん悪化していったことを覚えています。

あらためて調べてみると、阪神淡路大震災は95年の1月17日だから16年前。そして、つくしんぼの活動を開始したのは96年6月だから15年前。時間が経つにつれ、ほんと早いです。

♪♪つくしんぼ日記♪♪

2月14日(月曜日) 天気 曇りのち雨のち雪

今日はバレンタインデー。でも、つくしんぼではチョコはもらえません。チョコが欲しければ自今のかでゲットしなければなりません。

名づけて『バレンタイン釣り堀』。輪っかをつけたお菓子を竹竿で釣り上げ、釣れたお菓子がその日のおやつとして食べられるという子どもたちにとっては夢のようなイベントです。

チョコが嫌いな子もいるのでお菓子のバリエーションは様々。制限時間は5分、みんな目当てのお菓子を必死に狙って奮闘していました。

大きな袋は真っ先に狙われますが、実は袋の中身はお菓子ではなく鉛筆だったりメモ帳だったり、中には空っぽの袋も!? 人気は、クッキーとおせんべい。うーん、バレンタインと関係ないような……。

大人気企画なので、3月のホワイトデーにもやります。名づけて『ホワイト釣り堀』。名前を変えただけで内容はまったく一緒。ソフトバンクのケータイとは何の関係もありません。(^^)



下は……散歩中の長男を事故で失った以降のこの5年間、ずっと生かされているような感覚と闘ってきました。

喪に服す、なんて無理。とにかくジタバタ足掻いていないと、自分の頭がおかしくなってしまうかも知れない。生かされている理由と真面向勝負することしか、自己保身の方法はありませんでした。

幸いにも私は、目の前に「自閉症の青年を主人公にした映画をつくる」という目標がありました。つくしんぼのことはみんなに任せ、私はひたすら、映画制作のことだけを考え、自らの精神状態を守り続けてきました。

同じに感じてしまう

今回の震災の津波で、海の近くに二万人以上の方々が犠牲になっています。九死に一生を得た方

なかには、大切な家族を失った方も大勢いるはずです。

そして、そんな方の多くが、自分の家族の消息がわからぬまま、ボランティア作業に携わっている姿がニュースには映し出されています。

わかるんです。長男を失ったときの私も同じだったから。

動いていないと、悲しさに押しつぶされてしまう。自分の生きている理由、生かされている理由を考えて、追いかけて、頑張つて何かをしていないと、頭がおかしくなってしまう……。

施設長を降りました

そんな悲しいニュースを毎日見続けながら、私は15年間続けてきたつくしんぼの施設長を降りると決めました。本当は5年前の長男の事故の直後にやめたかったの

ささえる会「ご入会・ご更新

ありがとうございました

小田様、工藤様、三田村様、鈴木様、川谷様、友井様、小田島様、黛様、三木様、山内様、玉川電気様、伊藤歯科医院様

ボランティア「ご寄付

ありがとうございました

三箇山様、山下様、山本様、宮崎様、久保様、桜井様、藤田様、三宅様、木島様、行田様、木村様

(12月～3月)

す。が、NPO取得のタイミングとも重なり、やめるにやめられず、そのままずっと先送り……。

私は「福祉」を志した人間ではありません。長男が障がい児だった親の立場として、障がい児とその親たちの「避難所」として、つくしんぼ始めたんです。その長男はもういない。なのに、私自身がつくしんぼを続けなければならぬ理由が、今は見出せません。

この5年、映画づくりに携わりながら、ずっと自分自身の「生かされている理由」を考え続けてきました。そして、このタイミングで結論を出すことにしました。

今後のつくしんぼは、「自分ではなく、誰かに託そう」と。

新施設長は決まっています。なので、施設長は不在。代わりにしてNPO理事長の私が施設長代理の立場を今年度一年続けることになっています。

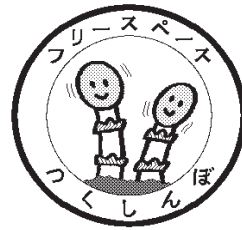
新制度への移行をきっちり済ませ、つくしんぼを必要とする次の世代の誰かにバトンタッチさせて買ってもらいます。



SSKP

つくつく通信

「つくしんぼ」はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
つくしんぼの活動は月曜～金曜日
放課後～午後 5 時 30 分まで
ボランティアさんを募集中です
興味ある方はご連絡ください
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



つくしんぼ 交遊録

ま・サル???

篠崎 真紀

こんにちは!! 将義は町田第二小学校の特別支援学級に通う 2 年生、自閉症の男の子です。2 つ上に同じ小学校に通う 4 年生のお姉ちゃんがいます。

将義が 2 歳の頃、毎晩夜中の 2 時 3 時に起きて、部屋の中をずーっと飛び回ったりしてました。室内よりのジャングルジムからソファに飛び移ったりして部屋中グルグル回って遊ぶ姿は“まさよし”というより“まサル”(お猿!) という方がピッタリくるような子でした。

成長して生活リズムがしっかりし、夜から朝まで寝てくれるようになった今も“まサル”ぶりはあまり変わりありませんが……。

つくしんぼに来て、木のブランコ(大好き!!)で上の枝に頭がつくぐらいまでブンブンときぎ(そのうち一回転するか枝が折れるので…と母は心配)、八人乗りの長いブランコは揺れているブランコの上に飛び乗ったり飛び降りたり、立ったまま移動したり、職員の皆さんをハラハラ(もう慣れた!?)させています。

そんな体だけはターザン並に活発な将義ですが、発語はまだほとんどありません。自発的に出る言葉は何か要求する時に出る「やって、ちょーだい」ぐらい。あとは「お手々をパッチン、いただきます」と「さようなら」と只今練習中の「おはようございます」。それでもなかなか自ら発する言葉には結びつきません。

私達家族もまたパパやママやネエネなど、呼んでもらったことはありません。でも彼は身体中いっぱい使った表現で私達を求め、愛情を示してくれます。

そんな彼が数曲口ずさむ歌があります。言葉のはっきりしない彼の歌を判別するのはなかなか

か難しいのですが、最近「うーいんお、やよやや…」(つくしんぼ、さよなら…)と帰りの歌をうたっています。(^^)

そして学校に入って文字を覚え始めた彼が、この間つくしんぼの門を入ったら、しゃがんで地面に何か書いているので何かと思ったら、つくしんぼの職員さんの名前でした。

そんな、つくしんぼが大好きな将義が原町田からつくしんぼに通う為に、我が家では昨年車を買ひ、母は 10 年以上のペーパードライバーを返上し、そしてこの夏なんと小川に、つくしんぼの近所に引っ越してくる予定です。(^^)

これからも親子共々末長くどうぞよろしくお願ひ致します。



で・もどり???

越村 祥子

障がい児に関わる仕事がしたいと思い、ボランティアセンターの紹介で初めてつくしんぼを訪ねたのは 9 年前。その日つくしんぼに来ていたのはお絵描きする子、ビー玉で遊ぶ子、こたつで温まる子の 3 人だけ。のんびりした雰囲気だなあとと思いながら一緒にお絵描きしたりお喋りをしていたら、おやつの時間になりみんなでこたつに入ってたこ焼きを食べたりしました。そんな事を覚えています。

もう一度ボランティアにと、つくしんぼに行ってみたところ、ちょうど職員交替の時期だったようで「職員にならないかと」声をかけてもらいました。そんな訳で、私はなんとボランティア 2 日目にしてつくしんぼの職員になったのです。

職員として仕事が始まるのと同時に、つくし

んぼに 4 人の子どもが入会し、のんびりした活動だと思っていたのが一変、追いかけて、木登り、車のレースごっこと動き回ってばかりの活動になりました。夏になると水鉄砲やシャワー、ビニールプールでの水遊びに子ども達は夢中になり、私も水浸しになりながら毎日一緒に楽しみました。

一度つくしんぼを退職した後も、ボランティアで遊びに行ったり、パートに登録したりとずっとつくしんぼに関わり続けていました。

そして 4 年前、再び職員として戻る事となり、つくしんぼ初の出戻り職員になってしまいました。(笑)

子ども達に対し、出来る事を増やしたい、伸ばしてあげたいという思いは持ちつつも、どうにも自分にはしょうに合わなかったようで……「放課後の活動なんだから」と楽しく遊んでくつろいでもらおうと考えてきました。子ども時代に誰かと一緒に楽しんだ経験、くつろいで過ご

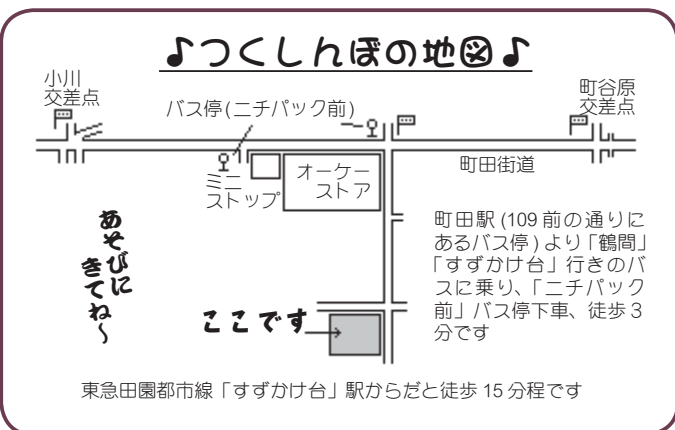
した経験を積み重ねてもらいたいと思っていました。でもその経験は、気づけば子ども達にというより、自分にとっての財産として積み重なっていたようです。

つくしんぼに来てからの 9 年間は、笑ったり泣いたり嬉しかったりのどんな思い出もナンバー 1 は全部子どもと共にあったように思います。その思い出はどんなに両腕を伸ばしても抱えきれない程になり、私の大事な宝物になりました。

長い間、楽しく過ごさせてもらい感謝しています。次はまたボランティアになって遊びに行くので、これからもよろしくお願いいたします。



発行 東京都世田谷区 6 丁目 26 番 50 21 円
障害者団体定期刊行物協会



「つくしんぼサポーター」ご入会・ご更新のお願い
フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子どもたちの放課後活動施設です。
1996 年に自主グループとして開所、1998 年に東京都通所デイグループ事業としての認可を受け、2007 年からは運営主体を NPO 法人はらっぱに移行し、運営を続けています。
活動を開始して 15 年。ずっと変わらなかつた補助金体系の最終年度となりそうです。来年度以降はどうなるやら……?
今年度より「ささえる会」という名称ではなく、「サポーター」という呼び方をさせて頂くことにしました。よろしかったら「サポーター」になつてくださいます。
年会費 2000 円(一口)でお願いしております。サポーターの皆様にはこの会報紙「つくつく通信」を送付させていただきます。今年こそは頑張つて年四回は発行しますの……。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ